

MARKETING REPORT

全国飲食店2024年4月～6月 開店・閉店ランキング

株式会社Reviewは「人」と「IT」のチカラを組み合わせ、全国の店舗データおよび法人データを収集・整備・提供しているデータプロバイダーです。

日々データを更新、圧倒的な網羅性とリアルタイム性がございます。

そんな弊社ならではの、全国の飲食店に関する開業・閉店の調査結果を発表いたします。

データ概要

【調査方法】
全国470ヶ所の行政からの開業情報をもとに、Review独自のクレンジングを行ったデータより算出



【データ調査期間】

2024年4月～6月の飲食店データ



開業ランキング



1位東京



2位大阪



3位福岡



4位愛知



5位神奈川

閉店ランキング



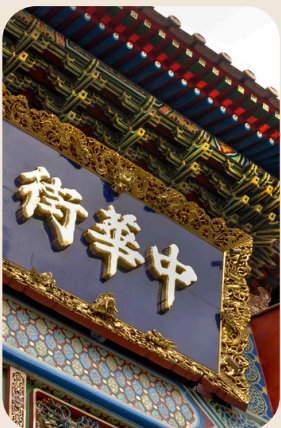
1位東京



2位大阪



3位北海道



4位神奈川



5位愛知

全国47都道府県 開店数順位

	都道府県	開店	閉店	差異
	全国ALL	15254	8168	7086
1	東京都	2186	1808	378
2	大阪府	1328	916	412
3	福岡県	968	281	687
4	愛知県	965	452	513
5	神奈川県	849	510	339
6	北海道	807	520	287
7	兵庫県	693	330	363
8	千葉県	565	409	156
9	埼玉県	503	435	68
10	沖縄県	497	135	362
11	静岡県	359	218	141
12	京都府	353	238	115
13	広島県	280	131	149
14	茨城県	245	59	186
15	鹿児島県	240	13	227
16	宮城県	219	112	107
17	新潟県	213	79	134
18	三重県	211	106	105
19	栃木県	207	35	172
20	熊本県	202	59	143
21	岡山県	199	80	119
22	青森県	191	75	116
23	岩手県	181	48	133
24	岐阜県	181	61	120
25	石川県	167	52	115
26	香川県	161	57	104
27	愛媛県	158	38	120
28	群馬県	154	95	59
29	山口県	152	39	113
30	宮崎県	146	35	111

31	長野県	143	93	50
32	福島県	143	82	61
33	大分県	136	38	98
34	長崎県	124	28	96
35	滋賀県	116	72	44
36	高知県	114	20	94
37	和歌山県	114	25	89
38	奈良県	104	67	37
39	山梨県	99	62	37
40	山形県	86	45	41
41	佐賀県	80	18	62
42	富山県	79	36	43
43	秋田県	77	55	22
44	福井県	72	40	32
45	島根県	70	21	49
46	徳島県	65	19	46
47	鳥取県	52	21	31

2024年4月～6月 / 全国

開業数

閉店数

15,254 件

8,168 件

ちなみに…2024年1月～3月 / 全国

開業数 12,919件・閉店数 10,248件

開業数が**2,335件増加!**

閉店数は**2,080件減!**という結果に

国内主要都市における開業・閉業動向 ～インバウンド需要と都市間競争の影響～



2024年4月から6月にかけての国内主要都市における開業・閉業動向を調査した結果、観光やビジネスを目的とした訪日外国人（インバウンド）の影響が、都市部の開業数や業態の変化が反映されていることが分かりました。

調査結果によると最も多くの開業が見られたのは、1位は東京(2,186件)・2位は大阪(1,328件)・3位は福岡(968件)・4位は愛知(965件)・5位は神奈川(849件)です。

前回同様に、これらの都市はインバウンドニーズが高く、観光やビジネス目的の訪問者数が多いことが影響していると考えられます。

また、閉店数のトップも東京（1,808件）と大阪（916件）、続いて神奈川、埼玉、兵庫といった主要都市が上位に並んでいます。開業が多い＝競争が激しい地域でもあり、事業環境の厳しさが反映されていると考えられます。

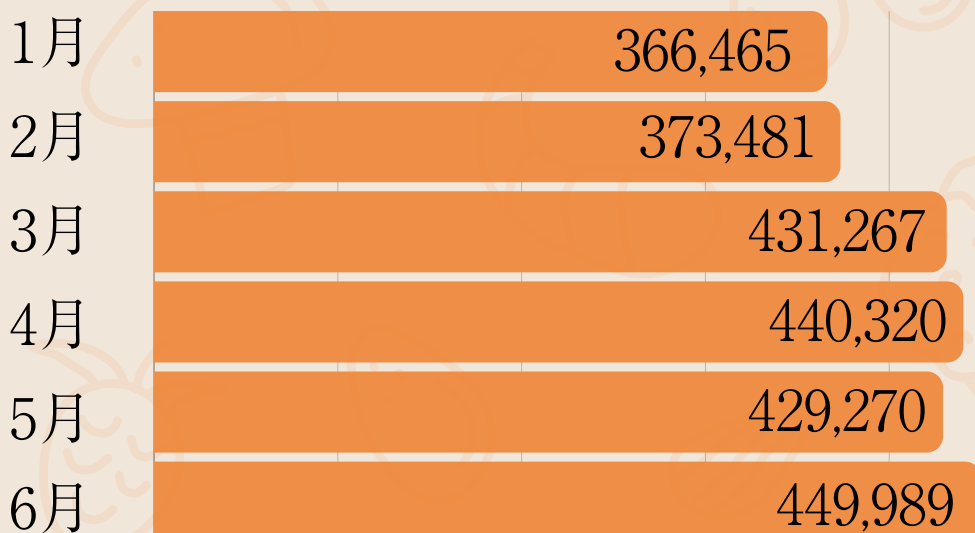
全国すべての都道府県で 開店数が閉店数を上回るという結果に！

注目すべきは、すべての都道府県で開店数が閉店数を上回っているという点です。

特に福岡、愛知、大阪などを中心に、開店数が閉店数を大きく上回っています。例えば、福岡では開店が閉店を687件上回り、観光・インバウンド需要の成長を最近のニュースでも、九州を訪れる観光客の増加が見受けられております。国土交通省の調査でも、九州への入国者数の増加が結果として出ております。(下記グラフ参照)

福岡県には、外国人観光客の来店を歓迎する飲食店などを「インバウンド協力店」に登録する制度があり、登録されたインバウンド協力店は、国内外へ広く発信されているので、こういった制度も影響の1つかもしれません。

九州への外国人入国者数



ジャンル別 開業・閉店ランキング

開業ランキング



1位カフェ/喫茶店



2位飲み屋/居酒屋



3位ラーメン

閉店ランキング



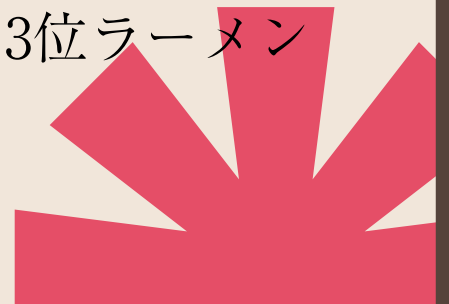
1位カフェ/喫茶店



2位飲み屋/居酒屋



3位ラーメン



全国飲食店 ジャンル別開店数順位

	ジャンル	開店	閉店	差異
	ジャンルALL	15254	8168	7086
1	カフェ・喫茶店	1308	1468	-160
2	飲み屋・居酒屋	1227	1217	10
3	ラーメン	614	675	-61
4	バー	587	217	370
5	一般レストラン	532	593	-61
6	各国料理	522	625	-103
7	専門料理店	443	448	-5
8	お菓子・スイーツ	408	553	-145
9	和食・郷土料理	358	222	136
10	焼肉	316	259	57
11	中華料理	229	251	-22
12	焼き鳥	210	139	71
13	寿司店	179	134	45
14	カレー店	155	140	15
15	ファーストフード	136	136	0
16	肉調理店(焼肉・焼鳥・ステーキ除く)	133	159	-26
17	丼・定食	130	113	17
18	キャバレー・ナイトクラブ・ラウンジ	127	1	126
19	お好み焼き・たこ焼き・焼きそば等	122	141	-19
20	麺類(うどん)	120	100	20
21	麺類(そば)	111	172	-61
22	ステーキ	38	124	-86
23	鍋料理	33	61	-28
24	分類できない飲食店	9	0	9
25	その他飲食店	7207	220	6987

飲食業界のトレンドと都市部の変化

なんと、トップ3は開業も閉店も
同じジャンルという結果に！

2024年4月から6月の期間におけるジャンル別の開業・閉業動向を調査した結果、カフェや飲み屋・居酒屋、ラーメン店など、飲食業界の中でも特定の業態が動きを見せていることがわかりました。



カフェ・喫茶店の開業・閉業が増加し、多様化進む

カフェ・喫茶店は1,308件の開業があったものの、1,468件の閉店があり、閉店数が上回っています。

店舗が台頭している一方、従来型の喫茶店は競争激化により苦境に立たされているようです。また、都市部のリモートワーク利用やコワーキングスペースとしての需要も増加しており、店舗は多様なサービスを提供することで生き残りを図っています。

飲み屋・居酒屋のニーズ回復、 変わりゆく消費者のニーズに対応

飲み屋・居酒屋の開業数は1,227件で、閉業数は1,217件とほぼ均衡しています。業界の需要回復に最適と考えられています。

最近では、訪日外国人向けに地域特産の食材を提供する店舗も増加しており、伝統文化を体験できる居酒屋が注目を集めています。

今回の調査は、飲食業界の開業・閉業動向と消費者のトレンドの変化がわかる結果となりました。

【データに関するお問合せ】

株式会社Review(レビュー)広報

担当：五味川

Email：gomikawa@re-view.co.jp

TEL：06-7730-9109

Re:view